

2010 年度事業報告書

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

1 総括 (2010 年 4 月～2011 年 3 月)

日本経団連自然保護基金の助成金を得、大幅な植林地の拡大が促進される事を前提に現地協力関係機関のサラワク州森林局と共に効率の良い年度計画を立て、予定より早く 5 月には植林ができる体制を整えたことで、当初予定の上期 25ha を超える 28.90ha の植林を 9 月末までに達成する事が出来た。

下期は、先住民族が農耕で忙しい 10 月を外し、11 月に 1 回、さらに雨期入り直前の 12 月に前倒して行った事で年内中に 43ha を越える植林を達成した。昨今の天候不順を思えば、余裕を持って年度計画を進めていく事が出来たと思える。今年の雨期は少し長引いたが、残り 7ha を雨期が完全に終わった 3 月に一気に効率良く進めた事で最終的には 50.30ha と年度目標 50ha の植林を実現できた。

12 月には、UNIMAS (マレーシア大学サラワク校) の土壌専門家 Dr. Effendi 氏に土壌調査とその適正樹種の調査してもらい今後の指針とした。又、3 月にアグロフォレストリーの一環でもある、森の中の蜂蜜作りの講習会をサラワク州森林局の担当官により現地先住民族の人々に対し行ってもらい、森を残しながら農業をする足掛りを作る事が出来たと思う。

2 詳細

1) サラワク州森林局の担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2010 年 4 月 15 日 サラワク州森林局植林部会議室

出席者： Mr. Haji Kashim (サラワク州森林局植林部部長),
Mr. Haji Azman (サラワク州森林局植林部副部長)
Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長) 延べ 5 名

内容： 植林活動を拡大するための体制、サラワク州森林局の協力の方法、植林活動の問題点や課題に関する打ち合わせ。

2) サバル森林保護地区近隣の先住民族との打ち合わせ

日時・場所： 2010 年 4 月 21 日 サバル・クルイン村にて。

出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

Mr. Ekin Empati 他村人 15 名延べ 19 名

内容： 年間計画における植林の日程の計画や、人員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民族の農耕作業との兼ね合いができる日程の考慮等の打ち合わせ。

3) サバル森林保護地区の平成22年度植林予定地の土壌調査

日時・場所： 2010年4月23日～25日 サバル森林保護地区にて

出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部),
Dr. Mohd. Effendi Bin Wasli (UNIMAS 大学 生物学部 講師)、
Mr. Bagong Bundan 延べ3名

内容： 今年度の植林予定地の50haで、植生や環境の異なる数箇所で、土壌サンプル調査と環境調査をし、適正植林樹種の選定を行った。

4) サバル森林保護地区第1回植林

第1回の場所は、熱帯特有の *Shorea Macrophylla* の樹種を選び、先住民族10名で、10日間の作業を行いました。6月1日は、先住民族の収穫祭に当たる関係で、その準備の期間を考慮した。

・日時、場所 2010年5月15日～5月24日 サバル森林保護地区
1500本 (3.8 ha)

樹種： *Shorea Macrophylla*,

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族10名 他

5) サバル森林保護地区第2回植林

第2回の場所は、同様の環境の場所で同じ種類を植林した。先住民族15名で、10日間の作業を行いました。先住民族を5名追加してどれだけの効率性に繋がるかを考慮した。

・日時、場所 2010年6月21日～6月30日 サバル森林保護地区
3520本 (8.8 ha)

樹種： *Shorea Macrophylla*,

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族15名 他

6) サバル森林保護地区第3回植林 + 東京都いきいき体験

第3回の場所は、少し天然の木が残っている影の沢山ある植林場所と、開けた環境とが混在している地域の為、前回分と同様の樹種と、被陰樹の *Dryobalanops Beccarii* の樹木を植林した。例年の乾季の時期に当るにも関わらず、連日の雨で、中2日間は大雨で中断を余儀されるなど天候不順に難儀した。幸い、8月1日の東京都いきいき体験の10名の方々が合同で植林された日は天気に恵まれた。

・日時、場所 2010年7月17日～7月21日 サバル森林保護地区
2010年7月24日～8月2日 サバル森林保護地区
2940本 (7.4 ha)

樹種： *Shorea Macrophylla*, *Dryobalanops Beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 15 名 他

7) サバル森林保護地区 草刈機の寄付と草刈機講習会

第3回植林の合間をぬって、日本の京扇産業さんよりの草刈機の寄付(3台)があり、草刈機の講習会を主催した。寄付頂いた草刈機が、こちらのと少し異なるので(取っ手の部分、歯の形状)、先住民族の方々は、最初難しそうであったが、慣れると意外と日本の方がやりやすい印象だった様だ。しかしながら、歯が円盤状なので、狭い所では、従来の紐形式の歯がよいという結論がでて、使い分ける事にした。

日時、場所 2010年7月21日 サバル森林保護地区

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 15 名、京扇産業 3 名 他

8) サバル森林保護地区第4回植林

第4回の場所は、第3回の同様の場所で2種類の樹木を植えた。8月後半には始めたかったのだが、天候不順で乾季なのに雨が降り多量な事から少し時期をずらし、9月の初頭に植えた。先住民族の農耕の時期も天候不順の為に遅らせざるをえない状況だったが、9月中旬には農耕を始めたいという希望を少しずらしてもらい、15日間の植林を行った。10名で行ったが、15日間x10名と、10日間x15名と、それぞれのデータを取ってみたが、結果、あまり違いがないということが分かった。

- ・ 日時、場所 2010年9月6日~9月20日 サバル森林保護地区
3560本 (8.9 ha)

樹種 : *Shorea Macrophylla*, *Dryobalanops Beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 10 名 他

9) サバル森林保護地区第5回植林

第5回の場所は2種類の樹木を植えた。雨期が本格的に始まる11月の後半前に、15名で10日間の植林を行った。その後、有志10名で植林地全体の維持活動を4日間行った。雨期の前に下草刈りをしておくと、雨期後の維持活動が多少なりとも楽になるからだ。

- ・ 日時、場所 2010年11月15日~11月24日 サバル森林保護地区
2940本 (7.4 ha)

樹種 : *Shorea Macrophylla*, *Dryobalanops Beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)
先住民族 15 名 他

10) サバル森林保護地区第6回植林

第6回は、年明けの雨期が開けてからの予定だったが、天候不順により雨季明けが遅くなる事も予想された為、この時期に行った。12月は、クリスマス・シーズンや学校の長期の休みの関係で、街に出たりする人や、親類の人の所に行く人が多く、10名のみで10日間の作業を行ったが、効率的には逆に良かった様だ。

又、丁度、UNIMAS（マレーシア大学サラワク校）の休み期間中だった為、期間中に土壌学の専門家のDr. Mohd. Effendi Bin Wasli氏に来てもらい、植林地の土壌と適正樹種に関する調査をしてもらった。

- ・日時、場所 2011年12月15日～12月24日 サバル森林保護地区
2800本（7.0ha）

樹種：*Shorea Macrophylla*, *Dryobalanops Beccarii*

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）
Dr. Mohd. Effendi Bin Wasli（UNIMAS<マレーシア大学サラワク校>）
酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長）
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長）
先住民族10名 他

11) サバル森林保護地区第7回植林

第7回は、2月の東京羽田ロータリークラブの訪問に合わせての予定でしたが、例年に無く雨期が長引いた為、3月初頭よりバグース・サラワク会（3月5日）、東京羽田ロータリークラブ（3月19日）、アジア歯科保険推進基金（3月23日）等の植林ツアーも含め、あいち生活共同組合協力会（1ha）や、「エコプロダクツ2010」会場でのオランウータンのぬいぐるみ購入の代行植林などを一気に行った。

（東日本大震災の影響で一部ツアーは中止となりましたが）

- ・日時、場所 2011年3月3日～3月23日 サバル森林保護地区
2800本（7.0ha）

樹種：*Shorea Macrophylla*, *Dryobalanops Beccarii*

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）
酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長）
鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長）
先住民族10名 他

以上